

トロッコ 第3号



特集

地域自治組織設立のウラ話～新田南地域連絡協議会 × 地域連携課 対談～

イベントレポート

「地域の未来を考えよう！地域の大会議 in 東泉丘小学校区」



豊中市では、地域と市が協働して地域課題を解決していく取り組みを進めています。住民や地域団体が、それぞれの特性を持ち寄って課題を解決していく地域自治システムと、市の各部局が情報共有、協力・連携していく体制を作っていくことで、地域自治の実現をめざしています。そのために、「トロッコ」を通して、地域活動に関する情報をお届けすることで、地域自治システムに関心を持っていただき、地域の方々や各団体による地域コミュニティの活性化につながればと願っています。

EVENT REPORT イベントレポート



地域の未来を考えよう！
地域の大会議 in 東泉丘小学校区を開催しました！

地域の未来や課題などを話し合い、「こうなったらいいな」を実現するためにどんなことができるのかを話し合っていた場として、東泉丘小学校区でワークショップを開催しました。



参加されたみなさんは熱く想いを話し合っていました。



計3回の開催を通して、地域内の強みや課題などをあらためて確認する場になりました。

東泉丘小学校区ではワークショップで出た内容について、今後も話し合いを続けられる予定です。



開催日時

- 第1回：令和6年(2024年)1月25日(木)19時～21時(東泉丘小学校 わかたけホール)
- 第2回：令和6年(2024年)2月15日(木)19時～21時(東泉丘小学校 わかたけホール)
- 第3回：令和6年(2024年)3月14日(木)19時～21時(東泉丘小学校 わかたけホール)

募集中！ ワークショップ開催校区募集！～地域の未来を一緒に考えませんか～

地域連携課では、「地域のことを地域のみなさんで考えるワークショップ」を開催する校区を募集しています。

「こんな校区になればいいな」や「こんなところを改善していけたらいいな」などを話し合い、地域の未来をみなさんで一緒に考えてみませんか。

詳細がお知りになりたい、また疑問に思われたことがありましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

豊中市市民協働部地域連携課(連携推進係)
〒561-0802 豊中市曽根東町3-7-3 中央公民館1階
電話：06-6866-1102 ファクス：06-6863-4427
ホームページ：<https://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/npa/jiti/index.html>



各協議会の取り組み
状況はこちら



市ホームページ

特別対談

地域自治組織 × 豊中市

新田南地域連絡協議会

地域連携課

しがらみのない地域だからこそ、
できる地域活動のかたち

黒岡主事

設立にあたって、苦勞されたことはありますか

濱田さん

やはりコロナのときは苦勞しました。設立に向けて、コロナ前から検討会を立ち上げて住民アンケートなどを行っていたのですが、コロナウイルス感染拡大により、全ての設立に向けた話し合いが中断してしまい、全体の立ち上げに向けての機運が下降していきました。活動再開後もこちらのことを覚えていないなんてこともあり、対応や調整には苦勞しました。

もう一つ挙げると、母体とする組織がなかったことです。『やる気がある人はいるが、手を挙げる人はいない』という地域の特色もあって、物事が進みにくかったという面はあるかもしれませんが。ただこれは、悪いことばかりではないと思っています。地域のしがらみが少ない分、共通の課題に対して連携しやすいですし、どこかの団体に気を遣うことが少ない分、『手を挙げた人』の押し役に徹しやすいんです。地域自治組織を設立するまでは、「自分たちで何かの事業をしないとイケない」と思っていました。しかし組織を立ち上げて、改めて地域を見渡してみると、魅力的な活動をしている団体がたくさんあります。団体と団体が結びつければ、もっといい形になる事業がたくさんある。今はそのことに地域全体が気付けるようなきっかけ作りが自分たちの役割かなと思っています。

黒岡主事

設立のメリットを教えてください

山内さん

広報誌がグレードアップされたことです。今までは公民分館単独で白黒の広報誌を発行していましたが、地域自治組織としての広報誌をカラーで発行することができました。カラーになったことでより多くの方の目に留まることに繋がり、事業に参加してくれる方も増えました。今まで以上に団体としての活動を知ってもらえる機会が増えたなと思います。



新田南地域連絡協議会
山内 副会長



新田南地域連絡協議会
濱田 会長



地域担当職員
黒岡 主事

濱田さん

地域としてのまとまった意見を言えるようになることです。掲示板設置にしても、今まではバラバラの組織が漠然と「あったらいいな」と思っていたものが、一つの話し合いの場を持つことで地域の課題として行政に伝えることができる。何が必要で何が不必要なのかを精査する場としても活用できることもメリットだと思います。

いかに一歩踏み込んだ関係が築けるか

黒岡主事

設立されて地域に変化はありましたか

濱田さん

一歩踏み込むと色々なことをやってくれるようになったと思います。

山内さん

地域にこんな人材がいるんだと驚きっぱなしです。

濱田さん

以前よりも踏み込める関係性が築けるようになったからだと思います。表面的な関係性ではわからないものもわかるようになって、全体で地域のことを考えられる関係性ができつつあると思います。地域活動はどうやってその関係を築いていけるかが肝要になってきます。関係性を築くツールとしてとてもいい組織だと思います。

黒岡主事

当初、地域のみなさんは漠然としたやりたいことを持って、組織設立に向けて話し合いをされてきました。その漠然としたものが実際に事業計画や予算を考える中で、具体的な話し合いとなり、どう実行するか議論へと変化していく中で、地域の関係性がより深くなったと感じました。